

## 世間ということ

最近読んだ本の中に泉谷閑示氏の『「私」を生きるための言葉』(2009年3月研究社)がある。この中に「世間」について書かれている。泉谷氏の捉える世間とは、家族、職場、政党、WEB上のコミュニティ等いくらでも存在し、一人の人は複数の世間に常に流動的に属している。世間は同質性が結合原理で、世間への新規参加者はしごきというを通して心理的去勢を強いられる。また、世間が各人の行動を規制する原理は、他の構成員に「どう思われ ↓ (TRHのホームページ: <http://www.geocities.jp/recoveta/>)

るか」という神経症的傾向を利用したものの。その他、個人責任の回避・集団の意見による代用、同質性の確認・同意の強制、逸脱者への制裁、懐疑的精神の排除等々。私自身もかつて職場という世間に住んでいたり、現在はNPOというものを作ったりしている。どうして当時居心地が悪かったか、自分はこういうことをしてきたかがよく分かる。紹介に終わってしまったが、泉谷氏の分析は新しい精神分析の手法とも言えるかもしれない。とにかく面白い本だ。

電話: 070-5680-0916

メルアド: [hillman@tea.ocn.ne.jp](mailto:hillman@tea.ocn.ne.jp)

ファックス: 050-3737-7151

### » NewsNews »

8月の講演会は大成功でした。50人近くの人が集まり、講演者の方も素晴らしかった。方向性は間違っていないと確信しました。最初にしては充分じゃないでしょうか？また、10月1日より『まんばの会』事業を開始します。付帯事業としてカウンセリングも行う予定です。関心のある方はご連絡ください。

## 怒鳴るスタッフ

朝、娘を保育園にあずけに行くと、男性職員が子供たちに怒鳴り散らしている場面にちょうど遭遇してしまった。いつも騒々しい登園の時間はしばらく静まり返ってしまった。私は思わず『おーおー大丈夫か？』と口走ってしまった。その職員はすぐに子供たちが委縮してしまっているのを見てすまなそうな表情はしていた。おそらく気に触ることを子供の一人が言ったのでないかと推測された。他のお母さん方もなるべく何事もなかったかのように普段通りに振る舞っていたが、皆表情は硬くなっていた。複雑な気持ちで ↓



Takamatsu Recovery & Hope

# TRH通信2015.9 vol.12

発行責任者 : NPO高松Recovery & Hope 齋藤 工、発行日2015年9月24日

## 怒鳴るスタッフ

子どもを他の職員にお願いし、保育園を出るとちょうど、保育園の前を奇声を発しながら自転車で行く女性を見かけた。それも大変大きな声だったので驚いた。障がい者の方かも知れないとふと思ったが、あの男性職員とこの女性とはどこがどのように違うのだろうと考えてしまった。フラストレーションの解消のために大きな声を出すのは同じなのでは？と考えたり、男性は社会的地位があるが女性はどうなんだろうと思ったりした。逆に社会的地位があっても子供に悪影響を及ぼしたら親は困るし、他人に迷惑にならないようにフラストレーションを解消しているかもしれないかの女性は、ととても気遣いのある方かもしれないと思ったり。どうなのでしょうね？

## リカバリークルーズの話

8月の講演会で、素晴らしかったのはやはりピアの方のお話だった。Y氏は、地域移行支援で病院に行かれる時どのようなことに気を付けるのですかという質問に対し、「どんな方なのかなと、いつも楽しみにして行きます。」と話された。またF氏は、お話の中で「もし調子が悪くなくても仲間がいるので大丈夫だ。」とのこと。これは当事者同士の交流というものの域を超えていると思う。この方々が日頃、病気に罹ってしまった方々のことを覚え、どうしたら不安を取り除けるだろう、どうしたら希望を持てるのだろうと心を砕いて仕事に取り組んでいるからこそ、これほどまでに人を信じていることができるのだと思う。医師や看護師等の専門職と何ら変わらない態度、資質ではないか？逆に問うこともできる。私たちはこの方々のように ↓

心から、純粹に、精一杯病気に罹ってしまった方々のことを考えているだろうか？考えてはいるだろう。しかしそこで決定的に違うのは、その方について信頼をしている点なのではないのか？どれだけ私たちはその方の能力や自尊心、魅力を感じて語りかけているのか？「専門的知識」などというものが、その方のその方らしさを見えなくしてはいないだろうか？「ピアの方々」に注目してほしい」と私が言うのはここにある。人を助るとか、支援するとかということの最も基本的なことを彼らは行っているのである。ともすると、私たちの仕事より上を行っているのかもしれない。サービスの受給資格、疾病管理、退院の意志の確認等々、確かにその方に必要な作業ではある。しかし「その方」はそんなに切れ切れになっただけではない。一個のまとまった人格、存在だ。私たちはもっとピアの方々謙虚に学ぶべきだ。

## 〈来月の予定〉

・10月10日(土)

14:00~15:00

理事会

15:30~16:30

第1回まんばの会

要予約

・10月24日(土)

15時~17時

定例会

場所はいずれも

栗林コミセンです。

(高松市栗林3丁目2-12)